

「美術って、実験みたい」
「美術って、道徳みたい」
「美術って、数学みたい」
「美術って、国語みたい」
「美術って、…何かわからん」

授業の中で、そんな声が聞こえるときがある。
私はそれに、「そうやね」と答える。

図工美術は何でもつつみこむ。
発見も迷いも知識も喜びも苦しみも。

色と形でつつみこむ。
とても大きいものだと思はる。

色や形がなくなってしまうたら、
私たちは一体どうなってしまうんだらう。

未来を彩る子どもたちが
色と形でその世界をつくることを、
色と形を感じて心を動かすことを、
価値のないことだとは言わせない。

作品にむかう真剣な目を見てほしい。
悩みながら、解決の糸口を探る姿を見てほしい。
よりよいものができた時に友達とかわす、あの笑顔を見てほしい。